

重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

基本目標1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

(1) まちの活性化と生活環境の向上

①瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用

施策	KPI 指標名	第2期の達成状況				担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
		当初値 (H30)	R2実績 (R2~R6)	目標値 (R6)	達成度(%) R2実績 /目標値				当初値 (H26)	R1実績	目標値 (R1)
1	フルインター 化に伴う企業 誘致件数	-	2件 (R2~R6)	3件	66.7	企業活力推 進室	実績(企業誘致件数) 令和2年度:2件 ※H29.7.21 フルインター化事業採択	令和2年度に県の番の州臨海工業団地が完売となり、誘致する用地が限られてきている。今後は民間の用地も含め、引き続き企業誘致に努めていく。	-	9件 (H27~ R1)	3件
2	JR坂出駅の1 日あたり乗車 人員	5,355 人	4,214 人	5,500 人	76.6	-	四国内では4位となっているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、高松が1万人を割り込むなど、利用者数が減少。 【令和2年度】 1位 高松 9,285人 2位 徳島 5,560人 3位 松山 4,784人 5位 高知 3,834人	坂出駅周辺の再整備などにより、県内屈指の交通アクセスの良さを誇る本市の強みをさらに向上させ、エリアの価値を高めることにより、交流人口の拡大、人口増加により乗車人員の増加を図る。	5,168 人	5,333 人	5,500 人
3	企業立地促進助 成金	62名 (H26~ 30)	92名 (H28~ R2)	70名 (R2~R6)	131.4	企業活力推 進室	実績(利用件数・市内新規常用雇用予定者数) ・平成28年度:0件 ・平成29年度:2件・4名 ・平成30年度:2件・8名 ・令和元年度:1件・4名 ・令和2年度:5件・76名	例年数件の助成実績があり、当該制度の定着を通じて、今後も雇用機会の拡大を図る。 また、企業の新規投資および番の州地区への企業進出等により今後も雇用者数の増加が見込まれる。引き続き目標値の達成に向け企業誘致を促進する。			
4	まちなか中高層 住宅建設促進事 業	50戸	0戸	50戸	0.0	政策課	実績(申請件数) ・令和2年度:申請0件	平成28年度より補助事業を実施し、一定の効果があつたと考えられる。令和4年3月31日に補助要綱が失効するため、期限延長については今後、検討を行う。 なお、要綱の失効前に事業計画の認定を受けた事業については、認定の通知日から3年以内であれば交付申請を行い、補助を受けることができる。	-	52戸	50戸

②都市の環境整備と地域公共交通の利便性向上

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
5 循環バス運行事業	循環バスの利用者数(人/年)	58,813人	46,593人	72,000人	64.7	都市整備課	バス車内でのバルーン展示や、幼稚園、保育園児に向けてのバスの乗り方教室の実施等、ソフト面の取組も行い、利用促進を図った。 また、利用者のニーズに応じた運行形態改善の取組として、平成26年10月から運行ルートを変更し、令和2年10月から中ルートの運行を開始したことで、利用者数の増加がみられていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛により利用が激減した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図るなかで、引き続き利用者等の意見をふまえ、利便性の向上を図るとともに、利用促進を図る。	29,520人	60,644人	52,700人	

(2) 坂出の魅力発信

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
6 讃岐国府跡保存活用事業	讃岐国府跡調査報告会来場者数(人/年)	90人	90人	150人	60.0	文化振興課	平成25年度以降、毎年度実施しているが、参加者が固定化されている傾向が伺えた。その年度の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる傾向にあった。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来場者数は減少しているものの、中止となった令和元年度の報告とまとめて実施したため、毎年度参加している熱心な層をはじめとした来場者が再び見受けられたことから、徐々に回復傾向にあると見込まれる。	讃岐国府跡の発見当初は新聞報道が大きく、現地説明会の参加者数も多かったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による減少が危惧されたものの、見学者は過去最多の440人の来場数を記録し、依然として関心の高さが伺えた。 現在、遺跡の保存と活用の両立を図るため、讃岐国府跡保存活用計画の策定も進めており、毎年度実施している市民ふれあい会館での報告会では、講演内容や日時等を十分検討し、さらなる情報発信に努めながら、目標値の参加人員の回復を目指す。	135人	中止	150人	
7 ホームページ運営	市ホームページ全体のアクセス数(件数/年)	733,512アクセス	913,081アクセス	719,000アクセス	127.0	秘書広報課	新型コロナウイルス感染症に関するページの閲覧が増加している。令和2年3月に新型コロナウイルス感染症に関連するページをとりまとめたページを作成し、トップページの「重要なお知らせ」に掲載した。令和3年5月には、トップページのスライドに、新型コロナワクチン接種と新型コロナウイルス感染症関連情報のページにリンクを張った画像を新たに設けた。また、令和3年3月に、カテゴリをわかりやすくするとともに、画像の多用やSNS、ユーチューブ、バナーの設置等、見やすく使いやすくなるよう観光ページのリニューアルを実施した。 □	引き続き、ウェブアクセシビリティにも配慮しながら、内容の充実と適時適切な情報提供を図り、だれもが利用しやすいホームページを目指す。	645,572アクセス(H28)	824,884アクセス	660,000アクセス	

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
8	SNSを活用した観光情報の発信	坂出市観光協会のフェイスブックページのフォロワー数	704件(R1)	920件	1,200件	76.7	にぎわい室	坂出市観光協会では、「Go To キャンペーン」を契機に旅行先として本市に立ち寄り、長く滞在していただけるよう、SNS等を活用して観光スポット映像や話題性のある旬な情報を発信した。特に、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、不要不急の外出自粛が求められ、ステイホーム期間が多くなり、お取り寄せ(テイクアウト)需要が高まっていることから、「坂出ならではの涼味」を、動画編集アプリQuickを活用し配信した。	引き続き、SNS等を活用し本市の旬の情報を効果的かつ効率的に発信し、コロナ終息を見据え、旅行先として選ばれるまちを目指す。			
9	ふるさと坂出応援寄付	寄附件数(件数/年)	6,926件	14,617件	10,000件	146.2	政策課	平成28年度より専門業者に委託し、専用サイトの利用やクレジット決済を導入。 平成31年3月に、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」リニューアルにより、ポイント付与可能額(下限)を5,000円からとし、以後1,000円間隔で3ポイント毎の付与とした。令和2年度には件数・金額ともに大幅な増加が見受けられた。 また、新型コロナウイルス感染症に対応している坂出市立病院を支援するため、ふるさと納税の制度を利用したクラウドファンディングを実施したところ、目標金額1,000万円に対し、150件 11,120,421円の寄附金が寄せられた。その全額を市立病院に送金し、資機材等の購入費に充当した。	引き続き、本市の特徴を生かした魅力ある返礼品を提供するとともに、新たな種類の返礼品の提供を行い、さらなる寄附獲得に努める。	18件	11,265件	4,000件
10		寄附金額(円/年)	119,050千円	371,566千円	200,000千円	185.8		41,805千円	253,032千円	80,000千円		

(3) 移住・定住の促進

①移住の促進

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
11 新婚世帯家賃補助事業、移住世帯家賃等補助事業	家賃補助事業を利用した市外からの移住者数(人/年)	72人	59人	150人	39.3	政策課	新婚世帯家賃補助事業は、開始当初には平成26年度から平成28年度までの3年度間限定の予定であったが、一定の成果が認められることから、継続実施することとした。 令和2年度は、実績が当初値や前年度に比べ減少し、低い達成度となったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等が原因の1つと考えられる。	新婚世帯家賃補助事業は、婚姻届を提出して2年以内の世帯について、家賃のみを対象とする補助であり、移住世帯家賃等補助事業は、県外からの移住世帯について家賃及び初期費用を対象とする補助である。 引き続き、新婚世帯や移住世帯への支援を実施することにより、移住に伴う経済的負担の軽減に努め、本市への転入者数の増加につなげる。	46人	94人	150人	
12 空き家バンク	香川県空き家バンクサイトの市内物件登録件数	9件	26件	20件	130.0	政策課	制度の認知度の高まりから、令和元年度以降、20件以上の登録件数で推移している。不動産空き家バンクへの登録に関する相談は増加傾向にあることから、一定の利用ニーズがあるものと考えられる。	平成29年度から固定資産税の納税通知書にチラシを同封して制度の周知を図ったところ、多数の問い合わせをいただいていることから、引き続き実施し、制度の周知に注力する。	16件	27件	20件	
13 移住促進・空き家改修等補助事業	移住促進・空き家改修等補助事業を利用した市外からの移住者数	0人	2人	10人(R2~R6)	20.0	政策課	制度の認知度の高まりから、補助の利用件数が増加している。令和2年度は全体で5件の利用があり、予算と同額の実績となったことから、令和3年度予算では3件分を増額し、8件分を確保した。 実績 令和元年度 2件、移住者数 1人 令和2年度 5件、移住者数 2人	平成30年度の制度開始より、順調に利用実績が伸びてきており、令和3年度については、9月までに3件の支給が完了している。 引き続き制度の周知に努め、補助事業の利用を促進する。				
14 まちなか中高層住宅建設促進事業(再掲4)	まちなか中高層住宅建設促進事業補助金を利用した建設戸数	50戸	0戸	50戸	0.0	政策課	実績(申請件数) ・令和2年度：申請0件	平成28年度より補助事業を実施し、一定の効果があったと考えられる。令和4年3月31日に補助要綱が失効するため、期限延長については今後、検討を行う。 なお、要綱の失効前に事業計画の認定を受けた事業については、認定の通知日から3年以内であれば交付申請を行い、補助を受けることができる。	-	52戸	50戸	

②若者の定住促進

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
15 就職フェア	就職フェア参加者のうち市内企業への就職者数(累計)	-	R3.12月頃調査予定	15名(R2~R6)	-	企業活力推進室	実施状況(参加企業・参加者数) ・平成30年度:32社・23名(H31.3月) ・令和元年度:新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・令和2年度:28社・59名(R3.3月) 面接などの選考活動スケジュールの変更や、売り手市場により8月の参加者数が減少したことから、平成28年度より、年2回開催していた就職フェアを1回のみとした。	経団連が令和3年以降の学生を対象とする採用選考に関する指針を策定しないことを正式に発表し、令和3年以降は政府が経団連に代わり新たなルール作りを主導することとなった。このような動きを注視しつつ、フェア開催時期等を検討しながら、将来的な市の人口増に繋がるよう今後も就職フェアを開催していく。	5名(H25~26)	14名(H27~R1)	15名(H27~R1)	
16 UJIターン職員採用	UJIターンによる職員採用人数	1名(R1)	1名	10名(R2~R6)	10.0(累計R2~)	職員課	令和2年度採用は募集2名程度に対し、採用実績は試験の結果1名となった。	本市に定住することを条件としたUJIターン型採用枠を設定することにより、民間企業等で培った知識や経験を本市の発展や組織の活性化に役立てるとともに、本市の人口増加、定住促進に寄与する。今後の募集においても採用枠を設け、目標達成に努めていきたい。				

(4) 交流人口の拡大と関係人口の創出

①観光を軸にした交流人口の拡大と関係人口の創出

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
17 瀬戸内国際芸術祭関連事業	瀬戸内国際芸術祭2022の沙弥島会場の来場者数	58,766人(芸術祭2016) 72,459人(芸術祭2019)	-	78,000人	-	にぎわい室	春会期開幕後10連休があったことや、住民との共働による地域の特色を生かしたおもてなし等により、来場者数は前回との比較で20%を超える大幅増となった。瀬戸内国際芸術祭2019の来場者数は、目標値に対して92.9%の達成率となっている。	瀬戸内国際芸術祭2019における成果を踏まえ、さらなる来場者数の増加につなげたいが、新型コロナウイルスと共存せざるを得ない状況の中で、どれだけ来場者数の増加が見込めるかが課題である。				
18 観光振興事業	入込客数(人/年)	4,480,272人	2,736,930人	4,700,000人	58.2	にぎわい室	新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年3月から出始めている。	観光プロモーションビデオの作成や市ホームページにおける観光情報の特設サイトを新設させる等により、本市の魅力をもっとPRすることで交流人口の拡大を図っていく。	4,038,890人	4,504,069人	4,900,000人	

施策	第2期の達成状況					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)			
	KPI 指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値				当初値(H26)	R1実績	目標値(R1)	
19	まちあるき事業	まちあるき事業のツアー参加者数(人/年)	758人	339人	770人	44.0	にぎわい室	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、春のツアーは中止となったが、にぎわい創出事業で認定された事業の一環でまちあるきが催行され、令和元年度と同程度のツアー参加者となった。	ウィズコロナの時代に適したまちあるきを継続しつつ、引き続き、坂出市の魅力をPRできるまちあるきコースの造成を図り、交流人口の拡大を図っていく。	814人	367人	650人
20	カヌーのまちさかいで推進事業	カヌー競技場の利用者数(人/年)	17,826人	8,217人	18,000人	45.7	生涯学習課	令和2年度は年度当初からの緊急事態宣言による2か月にわたる施設閉鎖、年末から3月に至る新型コロナ第3波の影響により多くの参加者を見込める府中湖レガッタの中止されたこと等により利用者の大幅減少となった。	新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底し、困難な状況の中でも、予定されている行事や大会の実施を図る。令和4年度の高校総体実施の環境整備を行い、スポーツの振興や大会への参加意識の向上、本市の活性化やにぎわいの創出を図る。	11,884人	10,759人	15,500人

②特色を生かした地域づくり

施策	第2期の達成状況					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)			
	KPI 指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値				当初値(H26)	R1実績	目標値(R1)	
21	讃岐国府跡保存活用事業(再掲6)	讃岐国府跡調査報告会来場者数(人/年)	90人	90人	150人	60.0	文化振興課	平成25年以降、毎年実施しているが、参加者が固定化されている傾向が伺えた。その年の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる傾向にあった。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来場者数は減少しているものの、昨年度中止となった令和元年度の報告とまとめて実施したため、毎年参加している熱心な層をはじめとした来場者が再び見受けられたことから、徐々に回復傾向にあると見込まれる。	讃岐国府跡の発見当初は新聞報道が大きく、現地説明会の参加者数も多かったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による減少が危惧されたものの、令和2年度の見学者は過去最多の440人の来場数を記録し、依然として関心の高さがうかがえた。 現在、遺跡の保存と活用の両立を図るため、讃岐国府跡保存活用計画の策定も進めており、毎年実施している市民ふれあい会館での報告会では、講演内容や日時等を十分検討し、さらなる情報発信に努めながら、目標値の参加人員の回復を目指す。	135人	中止	150人
22	にぎわい創出事業	にぎわい創出事業を契機に定着した事業数(累計)	6件(H27~30)	9件	12件(R2~R6)	75.0	にぎわい室	にぎわい創出事業を活用することで市民が自発的にイベント等を実施し、にぎわいづくりに参加する機会を創出できており、令和2年度は坂出の街を楽しむ会や、坂出商店街まちづくり会議など、新たなにぎわいを創ってくれる団体が増えた。	今後にもにぎわい創出事業により各種事業を支援することでにぎわいの創出を図っていく。	2件(H25~26)	9件(H27~R1)	7件(H27~R1)